

主管課	健康づくり支援課	一般会計					
		款		項		目	
		4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費

事業の主な内容及び成果

【保健衛生総務事務費(健康づくり支援課)】

○骨髄移植ドナー助成金

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者に対し助成金を交付するもの。

併せて、骨髄又は末梢血幹細胞の移植及びドナー登録について周知し推進を図った。

・助成金の額：骨髄等の提供に係る通院等の日数に2万円を乗じて得た額(14万円限度)

※平成29年度は該当者なし

【医療救護対策事業】

・「飯能市地域防災計画」に基づき、災害時の医療救護体制の整備を図った。

・「飯能市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、市職員(健康福祉部)を対象に医療救護に係る研修会及び訓練を実施し、職員の技術の取得、向上を図った。

・医療救護所等設置場所(14か所)のうち、3か所の防災倉庫に備品を配備した。

○医療救護研修

「飯能市地域防災計画」に定められた医療救護班が、災害発生急性期(48時間以内)の医療救護活動を行えるように、実施体制、医療救護所開設手順を定めた「飯能市災害時医療救護活動マニュアル」について、市職員(原則、人事異動に伴う健康福祉部の新規異動職員)を対象に研修を行った。

5月12日(金) 会場:保健センター 参加者:14人

○医療救護所設置及び医療救護訓練

土砂災害・全国防災訓練の際に実施

6月4日(日) 会場:保健センター 参加者:38人

○医療救護所(防災倉庫)備品等の配備

西川小学校、吾野小学校、美杉台小学校

備品等

救護所旗、折りたたみ担架、折りたたみ式ベッド、応急救護セット、トリアージタッグ、テント等

事業の主な内容及び成果

【救急医療対策事業】

市民の急病等に対処するため、休祝日・夜間診療所、休祝日緊急歯科診療所、休祝日調剤薬局の運営を、(一社)飯能地区医師会、(一社)飯能地区歯科医師会、飯能地区薬剤師会に委託し、休祝日・夜間における医療体制を確保するとともに、救急医療事業の充実に努めた。

施設名	休祝日診療所	夜間診療所	休祝日緊急歯科診療所
利用者数	1,754 人	1,304 人	84 人
施設名	休祝日調剤薬局		
処方箋枚数	1,514 枚		

【AED(自動体外式除細動器)配置事業】

心肺停止による突然死を防ぐため、AED(自動体外式除細動器)を借り上げて、市の施設への配置を継続した。貸出し用AED(自動体外式除細動器)については、ウォーキング大会等への貸出しを行った。

配置	施設	貸出用	合計	貸出件数
台数	61 台	1 台	62 台	33 件

主管課	健康づくり支援課	一般会計					
		款		項		目	
		4	衛生費	1	保健衛生費	2	予防費

事業の主な内容及び成果

【予防接種事業】

個別予防接種ワクチン(BCG、二種混合、四種混合、麻しん・風しん、日本脳炎、不活化ポリオ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、高齢者用肺炎球菌、インフルエンザ)の接種を実施した。

未接種者へ接種勧奨を行い接種率の向上に努めた。

平成29年10月20日から平成30年1月31日までの間、生後6か月から中学3年生までの子どもに対し、インフルエンザワクチンの予防接種費用無償化事業を行った。

○BCG(結核)

- ・対象年齢：生後3か月から1歳の誕生日の前日まで
- ・勧奨者数：488人
- ・被接種者数：477人

○不活化ポリオ(急性灰白髄炎)

- ・対象年齢：生後3か月から7歳6か月になる前日まで

・被接種者数：	初回1回目	初回2回目	初回3回目	追加
	1人	7人	11人	24人

※現在は4種混合での接種となるため、個別勧奨は行っていない。

○二種混合(ジフテリア、破傷風)

- ・対象年齢：11歳から13歳の誕生日の前日まで
- ・勧奨者数：600人
- ・被接種者数：479人

○四種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ)

- ・対象年齢：生後3か月から7歳6か月になる前日まで
- ・勧奨者数：488人

・被接種者数：	初回1回目	初回2回目	初回3回目	追加
	466人	486人	493人	502人

○OMR(麻しん・風しん)

- ・対象年齢：1期 1歳から2歳の誕生日の前日まで
2期 5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間

- ・勧奨者数：1期 477人
2期 552人

・被接種者数：	1期	2期
	470人	507人

事業の主な内容及び成果

○日本脳炎

- ・対象年齢：1期 生後6か月から7歳6か月になる前日まで
2期 9歳から13歳の誕生日の前日まで
- ※特例対象者(平成7年4月2日～平成19年4月1日生)は20歳の誕生日の前日まで
- ・勧奨者数：1期 591人
2期 685人

被接種者数：	1期1回目	1期2回目	1期追加	2期
	472人	435人	438人	534人

※過年度の勧奨者が接種した場合、被接種者数が勧奨者数を上回ることがある。

○子宮頸がん(ヒトパピローマウイルス)

- ・対象年齢：小学校6年生から高校1年生相当の女子
- ・被接種者数：

第1回	第2回	第3回
1人	1人	1人

※現在は積極的勧奨を行っていない。

○ヒブ(インフルエンザ菌b型)

- ・対象年齢：生後2か月から5歳の誕生日の前日まで
- ・勧奨者数：488人

被接種者数：	初回1回目	初回2回目	初回3回目	追加
	452人	460人	467人	487人

○小児用肺炎球菌

- ・対象年齢：生後2か月から5歳の誕生日の前日まで
- ・勧奨者数：488人

被接種者数：	初回1回目	初回2回目	初回3回目	追加
	455人	463人	472人	481人

○水痘

- ・対象年齢：1歳から3歳の誕生日の前日まで
- ・勧奨者数：477人

被接種者数：	初回	追加
	464人	444人

○B型肝炎

- ・対象年齢：1歳の誕生日の前日まで(平成28年10月1日から定期予防接種)
- ・勧奨者数：488人

被接種者数：	1回目	2回目	3回目
	470人	471人	464人

事業の主な内容及び成果

○高齢者インフルエンザ

- ・対象年齢：平成29年10月20日から平成30年1月31日の間に接種当日65歳以上に達している方及び接種当日60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に極度の障害がある方
- ・接種対象者： 23,679人
- ・被接種者数： 10,250人

○高齢者肺炎球菌

- ・対象年齢：年度末年齢が65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方及び年度末年齢が60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に極度の障害がある方
- ・接種対象者： 5,446人
- ・被接種者数： 1,858人

○子どもインフルエンザ

- ・対象年齢：平成29年10月20日から平成30年1月31日の間に、生後6か月から中学3年生までの方
- ・接種対象者： 16,334人
- ・被接種者数： 8,764人（延べ）

【結核予防事業】

市民40歳以上の方を対象に19日間、市内12会場において肺がん検診と併せて実施した。

区分	レントゲン 間接撮影	精密検査 通知者数
一般	1,865 人	0 人

主管課	健康づくり支援課	一般会計					
		款		項		目	
		4	衛生費	1	保健衛生費	3	保健指導費

事業の内容及び成果

【健康づくり推進事業】

○飯能市健康のまちづくり計画の推進及び策定事業

＜飯能市健康のまちづくり計画(第2次飯能市健康増進計画・飯能市食育推進計画)の推進＞

健康づくりを総合的・継続的に推進し、市民が健康づくりに取り組みやすい地域環境を整えるため、市民、地域、関係機関や団体、行政等との連携による推進体制を築き、飯能市健康のまちづくり計画の推進を図った。

＜第2次健康のまちづくり計画(第3次飯能市健康増進計画・第2次飯能市食育推進計画)の策定＞

・健康・体力づくり飯能市民会議及び健康づくり市民ワークショップにより、評価及び課題抽出を行い、「人と地域 誰もがかがやく健康のまち はんのう」を基本理念とする第2次計画を策定した。

＜健康・体力づくり飯能市民会議の開催＞

飯能市健康のまちづくり計画の推進や重点事業実施計画、評価・改定にむけた検討を行った。

＜健康づくり推進庁内検討会議及び部会等の開催＞

第2次飯能市健康増進計画における重点事業の推進、飯能市食育推進計画における行動目標別推進事業についての検討等を行った。また、計画改定にむけて、骨子案及び素案の検討を行った。

＜野菜プロジェクトの推進＞

市民の野菜摂取量を増やし、野菜摂取量日本一のまちを目指すため、「自産自消の推進」や「野菜3倍レストラン」「地域野菜グルメ」の普及など、各事業の実施に関して調整を行ったほか、関係団体と連携して「飯能はんじょう鍋」の普及を行うなど、野菜プロジェクトの総合的な推進を図った。

＜ウオーキングの振興＞

各地区行政センター・公民館や関係団体等が主催する「スゴ足イベント」開催を支援した。また、ウオーキングの継続にむけて「飯能市スゴ足手帳(ウオーキング手帳)」の活用について各種イベントで啓発した。

※スゴ足イベント・・・10キロメートル程度を歩行する健康づくりのためのウオーキングイベント

＜健康づくりに関する啓発事業＞

・健康づくり標語コンクールの開催

小学生の部321点、中学生の部296点、成人の部115点の応募があり、最優秀賞3点、優秀賞14点、ユーモア賞3点を表彰した。

・健康まつりの開催

市内の医療関係機関等と連携し、健康づくりに対する意識の高揚を図った。

開催日	参加者数(延べ)	内 容
平成29年10月15日(日)	2,013 人	健康長寿サポーター養成講座・薬の相談・血圧測定・野菜グルメ試食・歯の相談ほか

事業の主な内容及び成果

○健康体づくり事業

<エクササイズウォーキング講座>

・ベーシッククラス

5月から市内3会場でベーシッククラス講座を開催した。

会 場	開催期間	応募者実数	参加延人数
	月	人	人
双柳地区行政センター (全5回)	5~6	23	94
南高麗地区行政センター (全5回)	11~12	16	66
飯能市役所別館 (全4回)	2~3	28	89
合 計		67	249

・エクセレントクラス

ベーシッククラス講座を2回以上修了した方を対象にエクセレントクラス講座を開催した。

会 場	開催期日	参加者数
		人
飯 能 市 民 体 育 館	4月15日(土)	28
美杉台地区行政センター	7月8日(土)	29
加治地区行政センター	9月30日(土)	25
あすなる会館(名栗)	10月28日(土)	16
原市場地区行政センター	12月16日(土)	17
加治東地区行政センター	1月20日(土)	28
飯 能 市 役 所 別 館	3月17日(土)	31
合 計		174

※エクササイズウォーキングとは

いつもより早く歩いたり、歩幅を広げたりして心拍数を上げ、エアロビクス効果でより健康的な身体をつくり、30分で3km歩ける力を目指す。

<ウォーキング道場講座>

ウォーキングを始めるきっかけづくりのための「ウォーキング道場」を開催した。

会 場	開催期間	応募者実数	参加延人数
	月	人	人
第二区地区行政センター	4~5	16	31
東吾野地区行政センター	1	15	25
合 計		31	56

※ウォーキング道場とは

ウォーキングを始めたい方、学びたい方のための入門編。正しいフォームや基礎知識を習得し、基本フォームを意識しながら5,000歩ウォークができるようになることを目指す。

事業の主な内容及び成果

<バランスDE若さアップ講座>

5月から市内3会場で開催した。

会 場	開催期間	回数	応募者実数	参加延人数
	月	回	人	人
飯能中央地区行政センター	5～7	8	27	187
精明地区行政センター	9～10	6	25	131
美杉台地区行政センター	1～3	7	27	167
合 計		21	79	485

※バランスDE若さアップとは

バランススティックを使い有酸素運動や軽い筋トレ、ウォーミングアップやクールダウンなど総合的なプログラムを行い、楽しみながらバランス力を鍛えて体力アップを目指す。

○自殺対策事業

自殺対策事業として、自殺予防庁内担当者連絡会議を実施した。自殺予防週間(9月)と自殺対策強化月間(3月)に併せて啓発事業及び人材育成事業を実施した。啓発事業では「こころの健康づくりの集いinはんのう」「特別展示いのち・つなげる 私を支えたこの1冊」を開催した。人材育成事業としてゲートキーパー養成講座、対面相談支援事業としてうつ病体験者と家族の集いを実施した。自殺の危険が高いアルコールに悩む方の節酒指導プログラム及びアルコール依存症者やその家族のための断酒に向けた酒害相談会、臨床心理士によるこころの健康相談を実施した。

<自殺予防庁内担当者連絡会議の開催>

うつ病や自殺の予防、早期発見・早期介入、自死遺族や自殺未遂者支援を効果的に進めるため庁内連携を図ることを目的とし、飯能市自殺予防庁内担当者連絡会議を開催した。

内容

・新たな自殺対策大綱について、埼玉県の自殺対策について、飯能市の自殺動向について、自殺対策事業の実施状況等

<自殺対策啓発事業>

・特別展示「いのち・つなげる」～私を支えたこの1冊～

9月10日から9月16日までの自殺予防週間及び、3月の自殺対策強化月間に併せ、市立図書館を会場とし「いのち」について考え「いのちをつなぐ」をテーマとした企画展示を実施した。

日時	平成29年8月18日(金)～平成29年9月28日(木)
内容	あなたの町の助産師さんと保健師さん編
日時	平成30年2月24日(土)～平成30年4月13日(金)
内容	わが町の大学 駿河台大学の先生編

事業の主な内容及び成果

・こころの健康づくりの集いinはんのう

開催日	平成30年3月3日(土)	講師等
参加者数	内 容	
96人	講演会 『心地よい睡眠のヒント』について	岩瀬利郎氏 (武蔵の森病院院長)
32人	こころの健康づくりサポーター養成講座 (ゲートキーパー養成研修) 実践編『メンタルヘルスファーストエイド』の コツ	埼玉県立精神保健福祉センター相 談・自殺対策担当職員及びこころの 健康づくりの集い実行委員
60人	体験！ピアサポート	みなくる倶楽部、みのり会、断酒 ヒューマニティグループ
備考	自殺対策強化月間に併せて実施した。狭山保健所後援、精神保健福祉センター協 力のもと、こころの健康づくりの集い実行委員会が企画・運営した。	

<人材養成事業>

・ゲートキーパー養成研修(出前講座)

回数	参加者数	内 容	日時・対象・参加者数
2回	40人	こころの健康づくりについて 飯能市の自殺動向について	・9月8日(金) 会食わかば 30人 ・3月21日(水) NPO法人あおーら10人

<メンタルヘルス研修(職員課と共催)>

実施回数	参加者数(延べ)
2回	107人

<対面相談事業>

・うつに関する相談会

自殺予防週間及び自殺対策強化月間に併せて9月、3月に実施した。

実施回数	相談件数
2回	4件

・うつ病体験者と家族の集い

「うつ病」を体験した者同士またその家族が集い、仲間づくりや療養に関する経験を分かち
合うことにより回復を支援した。

実施回数	参加者数(延べ)
6回	16人

事業の主な内容及び成果

<アルコール健康障害対策事業>

自殺者の多くは危険な飲酒を伴うとされていることから、アルコール啓発週間に併せてアルコール関連問題に関する正しい知識の普及のための啓発講演会及びアルコール健康障害の発生予防のためアルコール節酒指導プログラム(HAPPYプログラムはんのう版)を実施した。

	日程・内容等	講師等
啓発講演会	11月10日(金) 参加者16人 一緒に学ぶアルコール健康講座	五十嵐酒造株式会社代表取締役社長 健康づくり支援課管理栄養士
節酒指導プログラム	1日目 12月1日(金) 参加者15人 お酒の効用とリスクについて 2日目 2月9日(金) 参加者11人 からだとお酒のいい関係	埼玉県立精神保健福祉センター職員 健康づくり支援課 保健師、管理栄養士、精神保健福祉士

○精神保健事業

<臨床心理士によるこころの健康相談>

実施回数	参加者数(延べ)
4 回	10 人

<精神保健に関する相談事業>

実人数	延べ人数		
	面接	訪問	電話
96 人	114 人	155 人	50 人

<酒害相談会>

実施回数	参加者数(延べ)
12 回	126 人

○健康長寿サポーター事業

健康長寿サポーター事業では、各地区行政センターとの共催や出前講座、健康まつり等で健康長寿サポーター養成講座を実施した。

・健康長寿サポーター養成講座

実施回数	参加者数
14 回	220 人

○言語リハビリ教室

回数	当事者数(延べ)	家族人数(延べ)	合計
11 回	44 人	20 人	64 人

事業の主な内容及び成果

○食育推進に関する事業

食育啓発事業として、各保育所、幼稚園、小学校に出向き、保護者や幼児を対象に食育講話を実施した。

・食育講話

区 分	実施回数	保育所・幼稚園	小学校	合 計
	回	人	人	人
幼児、児童、生徒	36	2,082	129	2,211
保護者	18	203	96	299

○地区組織活動支援事業

地区組織活動のひとつである食生活改善推進員協議会への支援では、各支部に職員が出向き、食生活改善について啓発した。

・食生活改善推進員活動状況

生活習慣病 予防		母子の健康 貧血予防		高齢者の 健康・食生活		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
21	494	17	429	9	192	25	900	72	2,015

事業の主な内容及び成果

【生活習慣病対策事業】

＜健康増進法に基づく事業＞

○健康手帳の交付

健康手帳を交付し、市民一人一人の健康管理に役立てた。

年齢区分	40～74歳	75歳以上	合計
交付者数	102人	17人	119人

○集団健康教育(延べ人数)

健康教育は、生活習慣病の予防と改善を図るため、講義やグループワーク、調理実習等を通して参加者自身の生活改善への取り組みを支援した。

区分	血糖値改善教室	栄養学セミナー	ヘルスアップ運動教室	骨粗しょう症検診時健康教育	骨粗しょう症予防教室	合計
開催回数	7回	8回	12回	2回	2回	31回
参加者数	108人	55人	297人	295人	30人	785人

○健康相談

健康相談・栄養相談では、自らが目指す理想の姿の実現に向けての支援を行い、食事を含めた生活習慣の改善に効果をあげた。

区分	回数	相談者数(延べ)		指導区分		
		総合	重点	異常なし	要指導	要医療
一般健康相談(総合)	30回	133人	—人	73人	42人	5人
栄養相談(重点)	43	—	220			
計	73	133	220	73	42	5

○健康診査

18歳から39歳までの方の健康診査は、健診の機会の少ない市民を対象に、生活習慣上の危険因子等を早期発見し改善点を見つけるために実施した。

区分	対象者	受診者数	保健指導区分別実人数			
			情報提供	メタボリックシンドローム		要医療(再掲)
				予備軍	基準該当	
18歳から39歳までの健康診査	18歳以上39歳までの方	192人	184人	5人	3人	25人
特定健康診査	40歳以上	3人	0人	1人	2人	1人
計		195	184	6	5	26

○肝炎ウイルス検診

平成29年度から新たに肝炎ウイルス検査(B型・C型)を、40歳以上の男女で、今までに検査経験がない方を対象に集団検診として実施した。

肝炎ウイルス検査受診者数	B型		C型	
	陽性	陰性	陽性	陰性
186人	0人	186人	0人	186人

事業の主な内容及び成果

○訪問指導

区 分	要指導者等	その他
訪問者数(延べ)	人 25	人 5

○特定保健指導

国民健康保険加入者のうち特定健康診査を受診した方には、医療機関の協力を得て生活習慣改善に向けての案内チラシを配布した。

また、特定保健指導対象者には、個別通知のほか電話、再通知、家庭訪問により勧奨を行った。

特定保健指導は、集団方式・個別方式に加え訪問型個別方式を用意し、対象者に合ったメニューを活用して生活習慣を見直し、内臓脂肪症候群の改善・予防に努めた。

実施状況	保健指導区分	
	積極的支援	動機づけ支援
実施者数	人 21	人 121
人 142		

*平成28、29年度の特定健診の結果により平成29年度の特定保健指導対象者となり、特定保健指導を開始した人数

○がん検診

がん検診は、受診率の向上と市民の利便性を高めるため、保健センターや各地区行政センターを会場として、複数のがん検診を一度に受診できるように実施した。また、男性限定日、女性限定日を設定し、受診中には子供の保育も実施するなどして、より受診しやすくした。前立腺がんでは、医療機関検診を特定健康診査と同時または単独でも受診した。国のがん対策事業の一貫として、子宮頸がん、乳がんの無料クーポン券と検診手帳を対象者に郵送し、がん検診の勧奨と検診を実施した(平成29年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業)。

<胃がん(対象者数 51,372人)>

受診者数	検査結果			精密検査率
	異常なし	精密検査	その他の所見	
人 1,361	人 1,227	人 82	人 52	% 6.0

<大腸がん検診(対象者数 51,372人)>

受診者数	検査結果			精密検査率
	異常なし	精密検査	治療中他	
人 2,102	人 2,010	人 88	人 4	% 4.2

<肺がん検診(対象者数 51,372人)>

受診者数	胸部検診	検査結果			精密検査率
		所見なし	精密検査	その他の所見	
人 1,865	人 1,865	人 1,621	人 18	人 226	% 1.0
	うち喀痰検査 75人	人 74	人 1	人 0	% 1.3

事業の主な内容及び成果

<子宮頸がん及び体がん検診(対象者数 34,097人)>

受診者数	子宮頸がん検診 (個別検診)	検査結果			精密検査率
		異常なし	精密検査	要再検査他	
人	人	人	人	人	%
1,210	一般 1,182	1197	3	10	0.2
	がん検診総合支援事業補助金※1 28				
	うち子宮体がん検診 745	731	2	12	0.3

※1:新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金

<乳がん検診(対象者数 13,130人)>

受診者数	集団検診	一般	検査結果			精密検査率
			異常なし	精密検査	要再検査他	
人	人	人	人	人	人	%
1,394	個別検診	一般 995	874	66	87	6.4
		がん検診総合支援事業補助金※1 32				
人	個別検診	一般 292	308	44	15	12.0
		がん検診総合支援事業補助金※1 75				

※1:新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金

<前立腺がん検診(対象者 19,229人)>

受診者数	集団検診	人	検査結果			精密検査率
			異常なし	精密検査	その他の所見	
人	人	249	人	人	人	%
668	個別検診	特定検診同時 287	385	27	7	6.4
		単独 132				
		人	人	219	18	12

○その他の検診

<骨粗しょう症検診(対象者 2,586人)>

受診者数	判定区分		
	異常を認めず	要指導者	要精密検査者
人	人	人	人
295	31	234	30

事業の主な内容及び成果

【コウトリ事業】

子どもを望むときに、妊娠出産ができるよう不妊検査費及び不妊治療費を助成し、経済的な負担を軽減するための事業

○不妊治療費助成事業

保険診療が適用されない不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けている夫婦に対し、治療費の助成を行うことで経済的負担を軽減し、夫婦の望むタイミングに治療を受けられるよう都道府県等助成に加え市の助成制度を平成27年度から設けた。

- ・対象者： 戸籍上の夫婦、県の助成制度の交付決定者、夫婦の双方又は一方が飯能市民で、市税の滞納がないこと。
- ・助成額： 治療費から都道府県等助成額を控除した後の額で、治療内容に応じて10万円、又は5万円を上限とする。さらに、治療時の妻の年齢が35歳未満で初回のみ10万円を上乗せする。限度額に満たない場合はその額が助成額となる。
- ・助成回数： 40歳未満で治療を開始した場合、43歳までに通算6回
40歳以上の場合通算3回の助成を受けることができる。

助成件数	助成金額
70件	4,313,941円

○不妊検査費助成事業

子どもを望む夫婦に対し不妊検査に係る費用の助成を行うことで経済的負担を軽減し、望む時期に不妊検査を受けやすく助成制度

- ・対象者： 戸籍上の夫婦、夫婦の双方又は一方が飯能市民、不妊検査の開始年齢が43歳未満であること。申請する検査に対して同様な助成制度を受けていないこと。
- ・助成額： 助成対象となる不妊検査に係る費用のうち助成対象者の自己負担額に対して、2万円を上限として助成する。
- ・助成回数： 1組夫婦につき1回限り。

助成件数	助成金額
26組	509,000円

事業の主な内容及び成果

【母子保健事業】

平成29年7月から子育て世代包括支援センターを保健センター内に設置し、妊娠届出時に保健師が妊婦一人一人と面談を行った。妊婦の心身の状態や子育てサポートの有無を把握し、必要に応じて妊娠期から支援を開始した。また、子育て世代包括支援センター以外で妊娠届出をした妊婦には、電話により体調や心配ごとの有無を確認し、全ての妊婦の把握に努めた。

健康診査事業は、身体発育及び精神発達面から重要な時期である乳児・1歳6か月児及び3歳児を対象として実施している。疾病の有無や発育発達障害の早期発見、保健指導(歯科、栄養、育児相談)の充実を図るとともに、受診率の向上に努めた。また、未受診者については訪問による状況把握と受診勧奨を行った。

乳児家庭の孤立化の防止と乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に「乳児家庭全戸訪問事業」を実施した。

地区担当制を実施しながら、関係機関と連携し切れ目のない支援を実施した。

○妊娠届出

妊娠届出数	左のうち子育て世代包括支援センター(保健センター内)受理件数
470 件	320 件

○妊婦健康診査

種別	受診人数
	人
妊婦一般健康診査	5,621
子宮頸がん検査	457
超音波検査	1,723
HIV抗体検査	465
HBs抗原検査	465
HCV抗体検査	465
HTLV-1抗体検査	465
クラミジア検査	453
風疹ウイルス抗体	465
延べ受診者数	10,579

○母子健康手帳交付件数

交付	追加交付	再交付	合計
470 人	6 人	14 人	490 人

○健康診査

健診名	対象者	受診実人数
	人	人
乳児健康診査	494	486
1歳6か月児健康診査	508	477
3歳児健康診査	527	484
2歳児歯科健診	573	492

○健康教育

区分	地区組織の育成	離乳食栄養指導	両親・母親学級	にこにこおやつ教室	歯みがき指導
回数	193 回	24 回	22 回	3 回	30 回
延べ参加者数	3,627 人	462 人	293 人	53 人	1,428 人

○育児学級

区分	すこやかクラブ(育児学級)	すくすくクラブ(遊びの教室)	たけのこの会(未熟児の親の会)	いるかの会(難聴児の会)	母親学級OG会
回数	6 回	22 回	0 回	1 回	6 回
延べ参加者数	93 人	220 人	0 人	7 人	42 人

事業の主な内容及び成果

○相談事業

区分	2か月児相談	乳幼児相談 (一般)	身体計測会
回数	12回	21回	22回
延べ参加者数	406人	125人	1,031人
区分	乳幼児相談 (予約)	発育発達相談	ことばの相談
回数	12回	14回	6回
延べ参加者数	100人	111人	22人

○訪問指導

区分	妊婦	親	(再掲) うち産婦	新生児	未熟児	乳児	幼児	その他	合計
延べ人数	6人	430人	146人	24人	10人	137人	259人	7人	873人

○乳児家庭訪問全戸訪問事業

対象者	産婦	新生児	乳児
472人	462人	253人	215人

○未熟児養育医療申請者数

申請者
14人

○母子愛育班員の訪問状況(地区別)

区分	飯能	精明	加治	南高麗	吾野	東吾野	原市場	合計
班員数	53人	43人	33人	9人	16人	19人	31人	204人
声かけ・訪問延べ件数	5,986件	2,348件	2,146件	326件	1,994件	2,025件	1,659件	16,484件